



# 岩五だより



令和6年5月17日

## 【ご挨拶】

小岩第五中学校に着任して、早1か月以上がたちます。気がつけばあっという間の感じがしますが、振り返ってみるとずいぶん本校教職員や保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様等の多くの方々に助けられてきたお陰だと強く感じます。また、温かく迎えていただき本当に感謝申し上げます。小岩五中のもつ良さを、うまく引き出せるよう教職員一同、考えて実践してまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を、引き続きよろしくお願いたします。

## 【これまでの主な行事について】

4月25日(木)には、恒例の、全校遠足〔スポーツチャレンジデー(旧歩け歩け大会)〕を実施いたしました。これは、新学期が始まって早々の異学年(1年生・2年生・3年生)を縦割りで班編成し、行動を共にして新中川の土手沿いまで歩いたり、レクリエーションに取り組んだり、スポーツテストを行ったりするなかで、学年に関わらず、協力し、集団規律や、学校外での適切な行動等を学び、上級生のリーダーシップの育成を図るとともに新入生との親睦を深めるための大切な行事です。どの班も規定コースから外れることなく予定どおりの時間に帰校でき、縦割り班の良さを発揮できたものになりました。先輩、後輩の交流もできました。

4月29日(月)昭和の日には、JR小岩駅周辺の下小岩縁日まつりに、本校吹奏楽部とボランティア部の生徒が多数参加させていただきました。そこで目にしたのは、そのお祭りの賑やかさもさることながら、生徒たちが、本番の演奏までじっと待ち、演奏をとおしてお祭りを盛り上げている姿、また、地域の幼い子どもたちに優しく語りかけて、輪投げゲームを楽しませている姿など、強く印象に残りました。また、本校生徒の一人が、下小岩縁日まつりの宣伝用ポスター部門に応募して、見事に特別賞をいただきました。この地域で、しっかり根づいて活動している本校生徒の姿を見られてすごくうれしく感じました。今年度、このお祭りを皮切りに、近隣のお祭りやイベントに参加していくこととなります。生徒たちが、地域との関わりによって大きく成長していくことが楽しみです。

## 【最近思うこと】

電車とバスを利用して、小岩五中に通っています。毎日の通勤で、思うことがあります。それは、「ほとんどの人が、スマートフォンを見つめて、うつむき姿勢だな」ということです。人それぞれの過ごし方ですから、別に悪いことだとは思いません。しかし、ほとんどの人がそうしています。そして、ふと思出すことがあります。

中学時代、ある先生が話された言葉…。『窓の外を見なさい。電車に乗っているときでも、窓から外を見てごらん。いろいろな人が、君とは違う人生を歩んでいる…。』

どうしても、自己中心的に物事を考えてしまう時期であっただけに自分の心にとっても深く沁みました。それ以来、ふと思出したときに実践するよう心がけています。そんなことを想いあえる学校にしていきたいと強く願っています。

江戸川区立小岩第五中学校  
校長 前本 大智